

## 指定管理者制度導入施設評価票

評価対象年度	令和4年度		
施設名	森林学習交流館	設置年	平成 7 年
所在地	秋田市河辺戸島字上祭沢38番地の4		
指定管理者	株式会社サンアメニティ		
県所管課	森林環境保全 課	調整・森林環境 チーム	

### 1 施設の概要

設置目的	森林・林業に関する学習及び研修機会を提供するとともに、林業従事者等の交流を促進することにより、県民の森林・林業に関する意識の高揚を図り、もって本県林業の振興に資する。					
県の施策上の施設の位置付け	新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における、当該施設の位置付け・目標					
	新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における目標を達成するための取組として、当該施設に求められているもの					
施設の面積	土地面積196,400㎡ 建物床面積(延床)4,630.4㎡					
主な設置施設	宿泊施設、会議室、研修室、レストラン					
指定管理業務の内容	料金制	(有)(利用料金併用制)・完全利用料金制) 無(指定管理料制)				
	料金設定	別添資料のとおり				
	サウンディング実施対象施設※	×	←○、×を記入			
	指定期間	R3.4.1	～	R8.3.31		
	営業期間・時間	通年営業				
自主事業の内容	森林学習交流館に関する次の業務					
	①使用の許可、使用の許可の取り消し並びに使用の制限及び停止に関する業務 ②本施設及び設備の維持管理に関する業務 ③森林及び林業に関する学習に関する業務					
直近3年の年間利用者数	R2	31,861人	R3	39,117人	R4	46,456人
	直近3年の年間料金収入	R2	22,438千円	R3	29,447千円	R4
直近5年の収支決算(単位:千円)		H30	R元	R2	R3	R4
収入計		85,984	84,458	59,647	63,888	76,217
利用料収入		56,372	54,846	22,438	29,477	47,974
指定管理料		29,612	29,612	37,209	34,411	28,243
その他収入						
支出計		92,815	90,240	80,538	84,738	93,549
人件費		37,496	37,522	37,522	38,458	38,458
人件費以外		55,319	52,718	43,016	46,280	55,091
差引		▲6,831	▲5,782	▲20,891	▲20,850	▲17,332

※単年度維持管理・運営費が1億円以上の公募施設について、民間事業者の意見を参考に運営手法や公募要件を検討するため、指定期間終了の2～3年前にサウンディング(官民対話)を実施する。

## 2 観点ごとの評価

### (観点Ⅰ) 施設の設置目的(施設の目指す姿)の達成に関する取組

【ポイント】

施設の設置目的(施設の目指す姿)を達成するための取組がなされ、その効果があったか。

○指定期間における運営方針・施設の利用目標

-
---

○目標の設定(毎年度、県と指定管理者が協議の上、業務計画書に定める目標)

令和4年度の目標	利用者数 40,000人
----------	--------------

○指定管理者による実績報告

直近3年の実績	年度	R元年度	R2年度	R3年度
	目標		70,000	35,000
実績		61,998	31,861	39,117
達成率		88.6%	91.0%	111.8%
令和4年度の実績	実績	46,456	達成率	116.1%
	具体的な取組とその効果	4年度は「森の学校」を中止することもなく開催しており、施設への来館者も増え、飲食部門では対前年比126%、宿泊部門では182%となっている。コロナ禍での予防対策が利用増に繋がったのではないかとと思われる。		
令和5年度の目標(設定根拠)	目標	利用人数 60,000人		
	設定根拠	新型コロナウイルス感染症が5類になること。全国旅行支援や洋上風力発電事業の影響で利用者増が見込まれる。		

※指標が複数ある場合は欄を適宜追加すること。

### (観点Ⅰ) の評価

評価者	評価	コメント	
		指定管理者	A
県(所管課)	A	令和4年度は、感染症対策を徹底し、「森の学校」等のイベントを実施した結果、目標人数の16%上回った。今年度は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症となったことから、森林学習等の開催について広くPRし、目標を前年度比20,000人増の6万人としている。	

【評価基準】次の基準により評価。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

また、施設の設置目的(施設の目指す姿)を達成するための、指定期間における運営方針・施設の利用目標について、指定期間開始年度から評価対象年度までの達成状況をコメント欄に記載すること。

A：目標達成(数値目標の場合は100%以上)

B：A及びC以外

C：目標達成に向けて改善が必要(数値目標の場合は80%未満)

## (観点Ⅱ) 施設の有効性（利用者の満足度）の向上に関する取組

### 【ポイント】

サービスの質を維持・向上するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

利用者満足度の状況 (直近3年)	R元年度		R2年度		R3年度	
	72.2%		71.2%		74.5%	
令和4年度の実績	実績	81.6				
	具体的な取組とその効果	備品の不具合などは修繕費で対応。ソフト面のクレーム等では、朝礼や閲覧などでスタッフへの周知を徹底し、対応している				

## (観点Ⅱ) の評価

評価欄	評価者	評価	コメント
		指定管理者	A
	県(所管課)	A	感染症対策の充実やスタッフの資質向上に対する取組により、満足度が向上したものと考えられる。

【評価基準】次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A：満足度80%以上 B：A及びC以外 C：満足度60%未満

## (観点Ⅲ) 効率性の向上等に関する取組

### (1) 経費の低減

#### 【ポイント】

施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

令和4年度の実績	経費の低減実績	光熱水費全体を前年度と比較すると4,540千円の増、水道では984m <sup>3</sup> ・261千円増、重油は2,000kl・368千円増だが、電気においては▲464kW・3,911千円増となっている。利用者数が7千人弱増えていることを前提に考えると健闘しているのではないかと考える。特に電気は使用量(kW)が若干の減に対して使用金額が増しているのは料金値上げによるもの。
	具体的な取組とその効果	館内の無人カ所の節電や、会議室申請内容に合わせた点灯及び冷暖房時間の管理、冬期間のロードヒーティングや雨水排水管ヒーターの使用見直し、温水ヒーターの温度調整等を行うなどして、光熱水使用量を若干増にとどめた。

※費用の総額では効果が計れない場合は、例えば利用者1人当たりの単価を算出する方法等も考えられる。

### (2) 収入の増加 ※指定管理料制施設を除く

#### 【ポイント】

収入を増加するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

令和4年度の実績	収入の増加実績	総売上対前年比 18,527千円増となり、部門別には宿泊 13,907千円・飲食 4,444千円・その他売店等 102千円・会議室 74千円といずれも増収であった。
	具体的な取組とその効果	要因としては、県民割や全国旅行支援への施設参加登録により、施設利用者が増え、各部門が増収になった。

**(観点Ⅲ) の評価**

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	B	利用者数の増加(展示室 1,921人増・学習の森 73人減・会議室 7人減・宿泊 2,413人増・レストラン 3,085増)もあり、一概に経費の増減を判断することは難しいが、特に電気代などは使用量(kW)が少ないにもかかわらず、料金が 3,911千円増えた状態である。
	県(所管課)	B	経費については、対前年度比19%の増であったが、利用料収入は、対前年度比で63%増となっており、光熱水費が高騰する中、経費の削減に対する指定管理者の努力の結果が認められる。

【評価基準】 次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A : (1) 経費の低減、(2) 収入の増加とも前年比で 5 %以上改善

B : A、C以外

C : (1) 経費の低減、(2) 収入の増加とも前年比で 5 %以上悪化

**(観点Ⅳ) 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組**

【ポイント】

施設の管理運営(指定管理業務)の適切な実施に向けた具体的な取組がなされ、その効果があったか

○指定管理者による実績報告

令和4年度の実績	<p>指定管理者として、運営を開始してから再応募をして12年目となりました。管理施設も毎年計画的及び継続的に老朽化対策を行ってきておりますが、今年度も修繕対策箇所以外での客室配管の不良などによる浸水があり、下の階への漏水被害がありました。そのため使用を一時停止することにより、大事には至らず施設の管理も適正に推移しておりますが、経年による様々な不具合が生じており、管理運営費内で修繕を繰り返しながら運営しております。</p> <p>また、近年の気象変動などに起因する不良箇所への管理を行い、お客様に喜ばれる施設づくりを目指し、軽度の修理や清掃管理を行いリスクアシメントに継続的に取り組みました。</p> <p>そのほか、コロナ禍による宿泊利用者減少や会議と招宴の縮小化を推奨するため宿泊、レストラン、宴会、会議などの利用減少化から今年度後半期以降は、利用者向上傾向が進み、合わせて全国旅行支援などの影響による宿泊増傾向や風力発電工事関係者の宿泊など良好感を得ており、経営の基礎となる収入源が戻ってくる傾向にあります。</p> <p>特に当該施設は、観光やビジネスで利用する施設とは違い、宿泊者は国際教養大学とそれに起因する勉強合宿やスポーツ関係の宿泊などに依存することが主要な施設でありますので、対策として宿泊プランやレストランに於けるサービスの提供要領などを工夫して利用推進の努力を継続し、利用者拡大に努めました。</p>
----------	--

**(観点Ⅳ) の評価**

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	A	実績報告に記載のとおり、施設の管理運営及び指定管理業務は適正に行っている。
	県(所管課)	A	当該施設は供用開始から20年以上が経過し、施設の老朽化が著しいものの、施設管理体制の充実・サービス向上のいずれについても積極的な取組がなされており、今後とも継続的に取組むことを期待する。

【評価基準】 A : 順調(改善点なし)、B : 概ね順調(重大な問題点なし)、C : 改善が必要(重大な問題点あり)

県(所管課)の評価においては、モニタリング結果を踏まえて評価を行う。

## 【県の施策達成に向けた県所管課の施設運営に対する考え方】

### ※全施設記載

#### ○県の施策の達成状況

(施設を運営することで、県の施策がどの程度達成されたか等)  
年間イベントである「森の学校」はリピーターも多く、利用者から好評を得ているほか、森林教室や自然観察会及び林業関連の研修等の開催が年間40件を超えるなど、県民の森林・林業に関する意識の高揚を図り、もって本県林業の振興に資するという県の施策実現に寄与している。

#### ○施設運営の課題

施設が老朽化し、研修室や客室において雨漏りによる使用制限が発生するなど、大規模修繕の緊急度が増している。

#### ○今後の方向性

(県の施策の達成状況や課題を踏まえて、今後所管課としてどのように対応していくか等)  
利用者満足度は昨年度から上昇し、81.6%と高い数値であり、コロナ禍にもかかわらず、利用者数・満足度ともに増加へ転じたことは、管理運営体制やサービス向上に向けた取組が適切に実施されたことの結果と考えられる。今後、屋外イベント等の規制解除に伴い、当該施設の需要の高まりが想定されることから、さらに利用者の利便性を向上させるため、課題となっている施設の老朽化に起因する不具合箇所の修繕を主体に環境整備を進めていく。